

事業報告書（平成 27 年度）

学校法人 足立学園

目 次

1. 法人の概要

(1) 建学の精神	1
(2) 設置する学校・学部・学科等	1
(3) 沿革	2～3
(4) 組織図	4
(5) 設置学校の収容定員・学生数等	5
(6) 役員・教職員等	5

2. 事業の概要

(1) 愛知文教大学	6～7
(2) 愛知文教女子短期大学	8～13

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移	14
(2) 事業活動収支計算書の推移	15
(3) 活動区分資金収支計算書の推移	16
(4) 貸借対照表の推移	17
(5) 平成 27 年度事業活動収入及び支出の構成比	18
(6) 主な財務比率の推移	19
(7) その他 財務諸表の説明等	20

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「質実にして知性高く、宗教的情操を身につけた真人を育成する」

(2) 設置する学校・学部・学科等

愛知文教大学	大学院	国際文化研究科
	人文学部	人文学科

愛知文教女子短期大学	生活文化学科
	幼児教育学科第一部
	幼児教育学科第三部

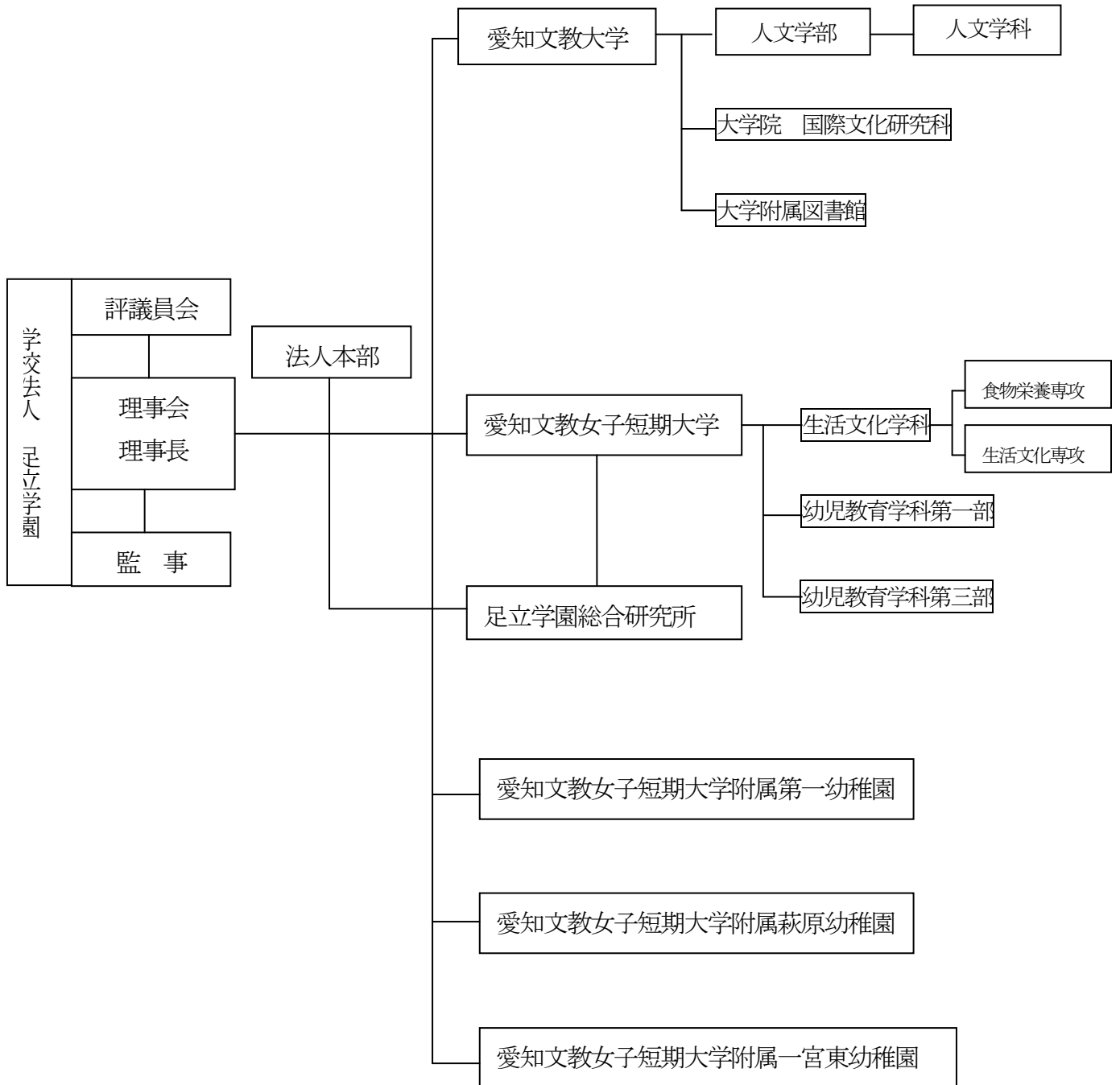
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園

(3) 沿革

昭和 26 年 3 月	稲沢女子短期大学設置認可 家政科第 1 部設置認可
昭和 27 年 2 月	家政科第 2 部設置認可
昭和 31 年 2 月	稲沢女子短期大学附属第 1 幼稚園設置認可
昭和 32 年 4 月	家政学科第 1 部、栄養士養成施設として指定
昭和 38 年 3 月	生活デザイン科設置認可
昭和 41 年 1 月	幼児教育学科第 1 部設置認可
昭和 41 年 2 月	幼児教育学科第 1 部保母養成施設として指定
昭和 42 年 3 月	稲沢女子短期大学附属萩原幼稚園設置認可
昭和 44 年 2 月	幼児教育学科第 3 部設置認可
昭和 47 年 2 月	幼児教育学科第 3 部保母養成施設として指定
昭和 47 年 3 月	生活デザイン科をデザイン美術科と改称
昭和 50 年 3 月	稲沢女子短期大学附属一宮東幼稚園設置認可
昭和 58 年 4 月	本館竣工記念式典挙行
昭和 60 年 11 月	2 号館竣工記念式典挙行
平成 2 年 3 月	家政科を生活文化学科と改称 生活文化学科第 1 部は食物栄養専攻と生活文化専攻に専攻分離
平成 5 年 4 月	3 号館竣工記念式典挙行 稲沢女子短期大学を愛知文教女子短期大学に名称変更 附属幼稚園もそれぞれ愛知文教女子短期大学附属第 1 幼稚園、萩原幼稚園、一宮東幼稚園と名称変更
平成 8 年 3 月	専攻科介護福祉専攻設置認可
平成 9 年 12 月	愛知文教大学設置認可
平成 13 年 5 月	愛知文教女子短期大学創立 50 周年記念式典挙行

平成 14 年 12 月	愛知文教大学大学院設置認可
平成 15 年 4 月	愛知文教大学大学院国際文化研究科修士課程設置
平成 15 年 4 月	デザイン美術科をデザインアート学科と改称
平成 16 年 11 月	愛知文教大学大学院博士後期課程設置認可
平成 17 年 3 月	生活文化学科 第 1 部 食物栄養専攻 栄養教諭免許課程 認定
平成 18 年 4 月	デザインアート学科募集停止
平成 19 年 8 月	生活文化学科 第 1 部 「特色ある大学教育支援プログラム」 文部科学省 採択
平成 22 年 4 月	生活文化学科第 1 部を生活文化学科と改称
平成 22 年 4 月	愛知文教大学国際文化学部国際文化学科を人文学部人文学科に改組 愛知文教女子短期大学生生活文化学科第一部を生活文化学科に変更
平成 23 年 11 月	愛知文教女子短期大学創立 60 周年記念式典
平成 24 年 4 月	愛知文教大学大学院博士後期課程募集停止
平成 24 年 9 月	足立学園総合研究所設立
平成 27 年 3 月	専攻科介護福祉専攻廃科

(4) 学校法人足立学園の組織図 (平成 27 年度)



(5) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

平成27年5月1日現在

学校名	学部・学科名	収容定員	1年	2年	3年	4年	計
愛知文教大学	人文学部	510	72	64	62	73	271
	大学院修士課程	16	5	10			15
	小計	526	77	74	62	73	286
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	140	66	68			134
	幼児教育学科第1部	160	88	82			170
	幼児教育学科第3部	210	77	79	60		216
	小計	510	231	229	60		520
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		360	110	117	111		338
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		270	89	87	90		266
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		207	86	70	81		237
計		1,873	593	577	404	73	1,647

平成28年5月1日現在

学校名	学部・学科名	収容定員	1年	2年	3年	4年	計
愛知文教大学	人文学部	490	70	68	69	72	279
	大学院修士課程	16	2	5			7
	小計	506	72	73	69	72	286
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	140	81	64			145
	幼児教育学科第1部	160	75	87			162
	幼児教育学科第3部	210	80	76	78		234
	小計	510	236	227	78		541
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		360	111	104	120		335
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		270	98	86	86		270
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		207	62	86	69		217
計		1,853	579	576	422	72	1,649

(6) 役員・教職員の状況 (平成27年5月1日)

①役員

理事 7名
監事 2名

②評議員

15名

③専任教職員

学校名	本務教員	本務職員	計
法人	0	2	2
愛知文教大学	22	11	33
愛知文教女子短期大学	35	19	54
第一幼稚園	15	2	17
萩原幼稚園	12	4	16
一宮東幼稚園	11	2	13
合計	95	40	135

2. 事業の概要

平成 27 年度 愛知文教大学 事業報告

教育研究活動

大学ではカリキュラム等計画に従って教育活動が行われ、27 年度新入学生よりの新カリキュラムも開始された。また、学部、大学院ともにFD(ファカルティデベロップメント)活動を組織的に実施した。学部のFD研究集会では、大学の改革取組みの背景・双方向型授業への取組み・学生の学修時間調査(第1回)、学生の自主学習を促進とポートフォリオの活用促進(第2回)を主題とした研修会を、大学院では学生の論文作成能力の向上のための事例研究を主題とした研修会を行った。

外国人留学生科目等履修生受け入れ

北京平成日本語学校との提携に基づく科目等履修生の受け入れが、27 年度も引き続き行われた。秋学期の期間、選抜試験を経て入学した2名が本学で学んだ。全員が本学敷地内の学生寮に寄宿し、日本語習得と日本の生活に適應することを主目的としたカリキュラムの下、一週間に9コマ(1コマ90分)の授業を受講を義務付けられるとともに、本科の留学生対象科目のうち各自のレベルにあった6~8単位の履修を認められた。

教員免許更新講習会開催

本学教職課程研究センターを中心として教員免許状更新講習会を開催した。本学の講習は、多人数の教員によるオムニバス形式ではなく、1つの講習を特定の講師1~2名が実施しているため、講習で提供している内容に受講者がじっくりと取り組むことが可能となっている。受講者同士の意見交換も活発に行える場であり、毎回好評を得ているといえよう。

平成27年度の講習は、8月6日(木)・7日(金)に、必修科目である「授業づくり-学校づくりに活かす教育の最新事情」(受講者45名)、8月17日(月)・18日(火)に選択科目である「学び手が活動できる授業の実現」(受講者43名)、8月19日(種)に同じく選択科目である「国語教材の研究」(受講者28名)および「日本語を使わないで英語を教えるGDM入門」(受講者31名)を開催した。

地域・社会活動

小牧市の文化財啓発事業に協力し、古文書入門講座、小牧市歴史講座、小牧市歴史基礎講座、小牧市文化財地図作成、終戦70周年記念事業等を行った。小牧市学習チューター制度等への協力においては、延べ80名の学生が小中学校の学習支援を行った。

地域交流事業として近隣団地で開催された桃花台祭に参加した。本学ブースを設置し、児童を対象とした塗り絵やカードゲーム、中国茶の体験、鎧や兜を試着する日本文化体験等を行った。

また小牧市長を会長とする市の外郭団体である小牧市国際交流協会の事業にも協力を行った。本学は開学以来協会理事を務めており、近年は教員と学生とがボランティア活動に参加している。活動としては日本人と外国人の児童とが交流する「国際こども教室」、「ワールドレストラン」、「スポーツ交流会」、「国際交流ふれあいフェスタ」にボランティアとして学生が参加した。小牧市協働推進課とNPO法人小牧市市民活動ネットワークが開催した「こまき市民活動祭」にも学生が参加し、大学の活動等に関するパネル展示を実施した。

27年度に本学教員が小牧市とその外郭団体等で務めた主な委員等は次のとおりである。小牧市国際交流協会理事および運営委員、小牧市生涯学習推進会議副会長、小牧市社会教育委員、公民館運営審議会委員、生涯学習推進会議委員、小牧市文化振興推進会議委員、市民大学こまきみらい塾運営委員、小牧市公共交通利用促進協議会役員。

高大連携事業

27年度年度は次のとおり本学提携高校との連携事業を実施した。愛知真和学園愛知啓成高等学校：大学体験（2回）、愛知県立愛知商業高等学校：本学教員参加の課題研究「中国語」（4月～12月まで隔週水曜日）、名古屋愛知律名古屋商業高等学校：SPH対象事業課題研究（6月～12月まで週2回参加）・国際交流実習（6月～12月まで週4回）・大学見学会（1回）、愛知県立一宮商業高等学校：英語中国語体験授業・国際交流体験（各1回）・高校文化祭への本学留学生参加・大学体験（1回）、愛知県立中川商業高等学校：中国語出張授業（2回）、愛知県立南陽高等学校：中国語出張授業（3回）・国際理解教育への本学留学生参加（1回）、愛知県立春日井商業高等学校：ビジネス中国語および課題研究授業への本学教員参加（3回）、愛知県立岡崎商業高等学校：中国語出張授業（2回）、愛知県立瀬戸北総合高等学校：語学及び世界の文化に関する出張授業（2回）、高松学園伊那西高等学校：選択講座授業への本学教員参加（5名各2回）、愛知県立半田商業高等学校：留学生の授業参加（1回）。

提携校以外の高等等との連携事業としては、豊川閣妙巖寺豊川学園豊川高等学校へ英語出張授業（1回）、愛知県立稲沢高等学校への中国語出張授業（1回）、愛知県商業高校英語スピーチコンテストへの審査員派遣、愛知県商業高校情報処理部会研修会への会場提供と本学教員による研修講義（2講義）等を実施した。

公開講座

26年度公開講座・統一テーマ「古典を読もう」を8回開催し、毎回平均90名の聴衆を集めた。

自治体の生涯学習関係講座

愛知県岩倉市生涯学習講座へ教員1名を3回派遣した。

平成26年度卒業生の就職状況

平成27年度学部卒業生中就職希望者の就職状況は、留学生を除いた男子学生86.6%、女子学生94.4%合計90.9%の就職率であった。留学生は100%であった。

平成 27 年度 愛知文教女子短期大学 事業報告

学科の特色を活かした取組

(1)食育講座「めざせ！ちびっこシェフ Part12」

前期:6月20日(土) 後期:2月6日(土)

会場:Ⅱ号館 調理実習室

参加者:20名(小学校2年～6年生)

(2)にこにこ Baby クラブ

前期:全6回

会場:Ⅱ号館2階 にこにこルーム

対象:未就園児(0歳児)の親子 10組

(3)にこにこ Kids クラブ

後期:全6回

会場:Ⅱ号館2階 にこにこルーム

対象:未就園児(1～3歳児)の親子 15組

(4)第7回文教子どもフェスタ

子ども向けの見る・学ぶ・作る・遊ぶを体験する企画

日時:1月16日(土)10:00～14:00

(5)稲沢市教育委員会との協力事業

稲沢市内小学校「多様な学習活動支援事業」出前講座

①坂田小学校(10/20・10/27・11/27)

②小正小学校(12/8・12/18・1/15・1/12・1/19)

(6)みんないっしょのクリスマス 2015

食物アレルギー対応のクリスマス料理とコンサートの企画(13年連続開催)

参加者:食物アレルギーの子どもと家族 60名

会場:Ⅲ号館 給食管理実習室・食堂

市民向け生涯学習講座

企画運営 足立学園総合研究所(平成24年短期大学内に設立)

平成25年に締結した稲沢市との包括協定を基に連携を深め、他世代に向けた生涯学習講座の参加者は今年度の参加者は延べ800名以上となった

Adachi fashion academy

(1) AFA 講座

開講期間:【春期】5・6・7月、【秋期】10・11・12・1月

曜日	回数	時間	講座名	講師名	教室	備考	
火曜	月2回	10:40～	楽しい書道	安井映理子	セミナーA	託児	
	月3回	①10:50～ ②13:20～ ③15:30～	オリジナルDIY	砂田治弥	研究所	AMのみ託児	
		月2回	①10:00～ ②13:00～	楽しい着付け～浴衣を 粋に装いませんか～	小林万記	和室	AMのみ託児
			月2回	10:00～	オリジナルソーイング	奥村智子	被服実習室
木曜	月3回	①10:00～ ②13:00～	季節を彩る染色 (基礎コース)	小林万記	研究所	AMのみ託児	
		①10:00～ ②13:00～	暮らしを楽しむ染色 (応用コース)	小林万記	研究所	AMのみ託児	
	全3回	10:40～	自分に似合う色を探そう -カラーコーディネーター	高橋美千子	セミナーA	託児	
	月1回	10:40～	季節に合わせたヘアメイ クレッスン	高橋美千子	セミナーA	託児	
	月2回	10:40～	シルバーエイジ ピアノレッスン	太田由美子	合奏室	託児 60歳以上 4名	
土曜	月1回	10:00～	キッズ体操クラブ	星野秀樹	体育館	年長～2年生	
	月1回	10:00～	キッズ造形クラブ	前期	研究所	年長～2年生	
			後期のみ ～色あそび 染色～	早矢仕清貴 後期 小林万記			
月1回	10:00～	男性料理教室 基礎を 学ぶ楽しいクッキング	小野内初美	調理室	男性のみ		

(2) 作品展

講座内で制作された作品の展示と研究所のイベント紹介

開催:2016年3月2日～4日

場所:短大ラウンジ 同時にクラフト講座を開催

いなざわコミュニティカレッジ(企画数 11)

(1) いなざわサマーカレッジ 2015

開催時期:8月18日～21日 開講時間:10:00～11:30・12:00

後援:稲沢市・中日新聞社

日程	講座	担当者・募集人数	教室
8/19(水)	① カラダを知って楽しくエアロビクス	西澤早紀子 一般20名	リズム室
8/20(木)	② フォトコラージュを作ろう	小川美樹 一般5名	インターネット教室
8/21(金)	③ イタリア料理入門	山本景子 一般12名	調理室

(2)いなざわサマーカレッジ 2015 親子講座【子どもゆめ基金】

開催時期:8月18日～21日 開講時間:10:00～11:30・12:00

後援:稲沢市・中日新聞社

日程	講座	担当者・募集人数
8/18(火)	① 親子で楽しむ ニュースポーツ 既存のスポーツではなく最近の普及しはじめたスポーツを体験します	星野秀樹 体育館 親子12組
	② 親子で楽しむ 食品加工	渡辺香織 調理室 親子10組
	③ 親子で楽しむ 動くおもちゃを作ろう 木材を利用して動くおもちゃを製作します	砂田治弥 研究所 親子10組
8/19(水)	④ 親子で楽しむ 田んぼのヒミツをのぞいてみよう 田んぼと生き物たち 今の多くの田んぼよりも少し工夫した田んぼの様子を観察します	山内晴雄 学外 親子25組
	⑤ 親子で楽しむ エコバックを染めよう 大小のエコバックを地染めして草木をたたき柄染めます	小林万記 研究所 親子12組
	⑥ 親子で学ぶ 防災おにぎりクッキング 防災を考えながらいろんなおにぎりを作ります	山口由貴 調理室 親子10組
8/20(木)	⑦ 親子で楽しむ ダンボールゲームづくり 親子で協力して楽しいダンボールゲームをつくります	早矢仕清貴 図工室 親子10組
	⑧ 親子で楽しむ お菓子作り 親子でコミュニケーションを図る素敵なお菓子作りの時間をご提供します	山本景子 調理室 親子10組
8/21(金)	⑨ 親子で楽しむ 音楽遊び	太田由美子・国藤真理子

	子どもの歌を取り入れた手軽なマジックと絵譜を使ったマーチング演奏	ラウンジ 親子 15 組
	⑩ 親子で楽しむ エコクラフト～捨ててしまうものを生まれ変わらせよう～ エコを意識し廃材を材料にした雑貨の作成	奥村智子 被服実習室 親子 12 組 1 組

(3) 夏期公開講座(稲沢市立中学教員・高校教諭向け)

開催日:7/30(木)、7/31(金) 2日間開講

開講時間:10:00～12:00・12:30／13:00～14:30・15:00

	日程	講座名	講師	定員
1	7/30 AM	保育	村上浩美	10名・にこにこ
2	7/30 AM	「日本人の食事摂取基準～2010年度版から2015年度版へ～」 －生活習慣病の重症化予防を視野に入れて－	有尾正子	10名・セミナーA
3	7/30 PM	写真整理とスライドショー	小川美樹	10名・インター
4	7/30 PM	かんたん洋裁	奥村智子	10名・被服実習室
5	7/31 AM	ストレッチ	西澤早紀子	10名・リズム室
6	7/31 AM	おから料理	渡辺・安藤	10名・調理室
7	7/31 PM	音楽療法	国藤・玉田	10名・にこにこ
8	7/31 PM	ハンディクラフト	奥村智子	10名・被服実習室

(4) キッズデザイナースクール 2015 【子どもゆめ基金】

デザインして染色して縫製し、ファッションショーを開催(全7回講座)

時間:10:00～12:00 定員:小学2年生から6年生 20名(女子のみ)

	日にち	テーマ	講師	教室
1	5月16日(土)	まなぶ時間 「デザインの基礎」 つくる時間 「デザイン画を描こう！」	北野淳子 奥村智子	被服実習室
2	5月30日(土)	まなぶ時間 「ソーイングの基礎」 つくる時間 「裁断して、ミシンを使おう！」	奥村智子	被服実習室
3	6月13日(土)	まなぶ時間 「染色の基礎①」 つくる時間 「染めて世界で一つだけの布をつくろう!①」	小林万記 奥村智子	研究所
4	6月27日(土)	まなぶ時間 「染色の基礎②」 つくる時間 「染めて世界で一つだけの布をつくろう!②」	小林万記 奥村智子	研究所

5	7月11日(土)	まなぶ時間 「コーディネート基礎」 つくる時間 「アクセサリーをつくろう！」	高橋美千子 奥村智子	被服実習室
6	7月25日(土)	まなぶ時間 「ヘア・メイク基礎」「ファッションショー企画」 つくる時間 「トータルスタイルを完成させ、かっこよく歩いてみよう！」	高橋美千子 奥村智子	被服実習室 ラウンジ
7	8月1日(土)	まなぶ時間 「ファッションショーリハーサル」 おひろめの時間 「ファッションショー」	高橋美千子 奥村智子 小林万記	ラウンジ

(5) 認知症サポーター養成講座

日程 火曜 5/19、7/7、10/20、12/15

時間 10:40～12:10 託児可能 定員 各回 20名

講師: 祢宜佐統美 教室: セミナールームA 受講者には、講座後、オレンジリングを授与

(6) あったか昼食会

ミニ介護講座・健康講座付昼食会

日程 月1回 木曜 5/14、6/11、7/9、10/8、11/12、12/10

時間 10:40～11:40 託児可能 定員 10名

講師: 渡辺香織・鈴木陽子 場所: ビタミンパレット(学生食堂)

(7) 第8回 稲沢再発見「稲葉宿を語る」

日程 1月16日(土) 場所 II号館和室

<内容>

「和遊び～日本文化を楽しむ」

和モダンに改装した和室でのお抹茶でのおもてなし、着物のファッションショー、マトリョミンの演奏会

(8) 稲沢市荻須記念美術館パートナーシップ事業

「稲沢市荻須記念美術館でゆかたを楽しむ～ファイバークラフト紙でお花の帯かざりをつくろう～」

日時: 7月26日(日) 15:00～16:45 (オープンキャンパス後)

(9) いなざわ・結・講座

地域の人が講師となり教える講座

1) 講師登録

説明会: 5月16日(土) 13:00～14:00 (予備日: 5月21日(木) 13:00～14:00)

開講 ①サマーカレッジシーズン(8/18～8/21) ②作品展シーズン(3/2～3/4)

2) いなざわ・結・定期講座

曜日	回数	時間	講座名	講師名	教室	備考
火曜	月1回	10:40 ～12:10	心で読む朗読 ～宮沢賢治の作品より～	内藤祐子	セミナーC	託児
	月2回	10:40 ～12:10	フラダンス初級 ～初心者の方にも優しい、基本ステップからゆっくり、ゆったり～	石澤福采子	リズム室	託児

(10) I'm ファイン薬局パートナーシップ事業

[場所:ファイン薬局 稲沢市長東町観音寺寺田 181(稲沢市民病院前)]

1) い～なマルシェ (内覧会と同時開催) (入場無料)

4月26日(日)10:00～15:00

稲沢で大切につくられたおいしいお米・お野菜などこだわりの食品の販売

祖父江のホタルの里のお米パッケージデザイン、商品企画

2) 健康講座 (受講料無料)

① 5月22日(金) 15:00～16:00 アンチエイジングエクササイズ

講師 愛知文教女子短期大学 管理栄養士 西澤早紀子

② 6月26日(金) 15:00～16:00 夏を楽しく過ごすために～脱水&日焼け対策～

講師 I'mファイン薬局 管理薬剤師 伊藤昌裕

③ 7月17日(金) 15:00～16:00 認知症サポーター養成講座

講師 愛知文教女子短期大学 介護支援専門員 祢宜佐統美

3) 夏の親子講座

親子で学ぶ「やさしい理科実験～夏休み自由研究にまだまだ間に合うよ～」 講師:近藤剛弘

日程:8/23(日) 対象:小学4～6年生と保護者 定員:10組

(11) 稲沢市資源対策課・愛知文教女子短期大学 連携事業

エコ料理教室～生ごみについて考えよう～

日時:3月3日 10:00～13:00 会場:Ⅱ号館 調理実習室・ラウンジ

定員:36名

講師:山口由貴

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移

(単位:千円)

科 目		25年度	26年度	27年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	953,998	1,016,382	1,027,210
	手数料収入	13,650	14,059	12,453
	寄付金収入	7,521	10,715	11,301
	補助金収入	245,254	232,943	237,226
	資産売却収入	1,370	259	345
	付随事業・収益事業収入	86,254	85,916	89,278
	受取利息・配当金収入	5,674	7,195	6,705
	雑収入	181,764	104,697	98,217
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	340,778	345,766	341,525
	その他の収入	408,531	543,107	495,138
	資金収入調整勘定	△ 402,623	△ 372,900	△ 372,226
	前年度繰越支払資金	1,142,248	1,235,765	1,384,938
	合 計	2,984,419	3,223,904	3,332,110
支出の部	人件費支出	871,552	776,882	820,189
	教育研究経費支出	288,594	267,700	304,784
	管理経費支出	204,567	223,153	264,646
	借入金等利息支出	867	202	0
	借入金等返済支出	21,152	9,104	0
	施設関係支出	18,836	8,866	96,729
	設備関係支出	12,544	37,232	18,702
	資産運用支出	0	0	42,000
	その他の支出	462,373	578,339	479,165
	資金支出調整勘定	△ 131,831	△ 62,512	△ 146,882
	翌年度繰越支払金	1,235,765	1,384,938	1,452,777
	合 計	2,984,419	3,223,904	3,332,110

(2) 事業活動収支計算書の推移

(単位:千円)

科目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	953,998	1,016,382	1,027,211
	手数料	13,650	14,059	12,453
	寄付金	7,638	12,932	12,499
	経常費等補助金	245,254	232,943	237,226
	国庫補助金	146,563	137,440	145,705
	地方公共団体補助金	98,691	95,503	91,521
	付随事業収入	86,254	85,916	89,278
	雑収入	181,764	104,698	98,217
	教育活動収入計	1,488,558	1,466,930	1,476,884
	事業活動支出の部	人件費	874,481	777,662
教育研究経費		431,327	407,500	440,919
管理経費		226,994	243,493	287,345
徴収不能額等		273	517	950
教育活動支出計		1,533,075	1,429,172	1,551,763
教育活動収支差額		△ 44,517	37,758	△ 74,879
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	5,674	7,195	6,705
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	5,674	7,195	6,705
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	867	202	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	867	202	0	
教育活動外収支差額		4,807	6,993	6,705
経常収支差額		△ 39,710	44,751	△ 68,174
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	228	0
	その他の特別収入	4,696	4,122	4,979
	特別収入計	4,696	4,350	4,979
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	2,638	5,125	4,275
その他の特別支出	0	0	0	
特別支出計	2,638	5,125	4,275	
特別収支差額		2,058	△ 775	704
基本金組入前当年度収支差額		△ 37,652	43,976	△ 67,470
基本金組入額合計		△ 61,065	△ 27,075	△ 26,660
当年度収支差額		△ 98,717	16,901	△ 94,130
前年度繰越収支差額		△ 3,613,908	△ 3,712,625	△ 3,695,724
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 3,712,625	△ 3,695,724	△ 3,789,854

(参考)

事業活動収入計	1,498,928	1,478,475	1,488,568
事業活動支出計	1,536,580	1,434,499	1,556,038

(3) 活動区分資金収支計算書の推移

(単位:千円)

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
による 教育活動 資金収支	教育活動による資金収入計	1,488,441	1,464,713	1,475,686
	教育活動による資金支出計	1,364,713	1,267,735	1,389,619
	差引	123,728	196,978	86,067
	調整勘定等	8,972	△ 9,474	13,070
	教育活動資金収支差額	132,700	187,504	99,137
による 施設整備 資金等 活動	施設設備等活動資金収入計	0	228	0
	施設設備等活動資金支出計	31,379	46,099	115,431
	差引	△ 31,379	△ 45,871	△ 115,431
	調整勘定等	141	12,092	73,709
	施設設備等活動資金収支差額	△ 31,238	△ 33,779	△ 41,722
による その他の 活動	その他活動資金収入計	397,040	442,915	470,998
	その他活動資金支出計	404,985	447,467	460,574
	差引	△ 7,945	△ 4,552	10,424
	調整勘定等	0	0	0
	その他活動資金収支差額	△ 7,945	△ 4,552	10,424
支払資金の増減額		93,517	149,173	67,839
前年度繰越支払資金		1,142,248	1,235,765	1,384,938
翌年度繰越支払資金		1,235,765	1,384,938	1,452,777

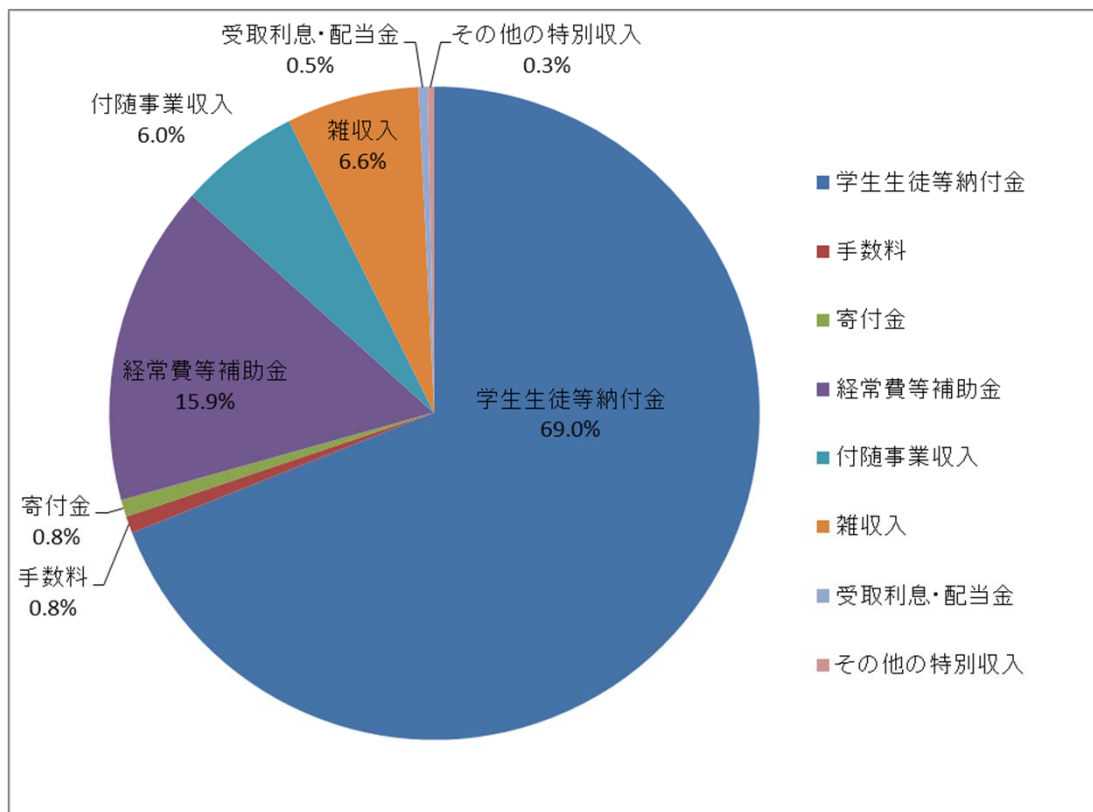
(4) 貸借対照表の推移

(単位:千円)

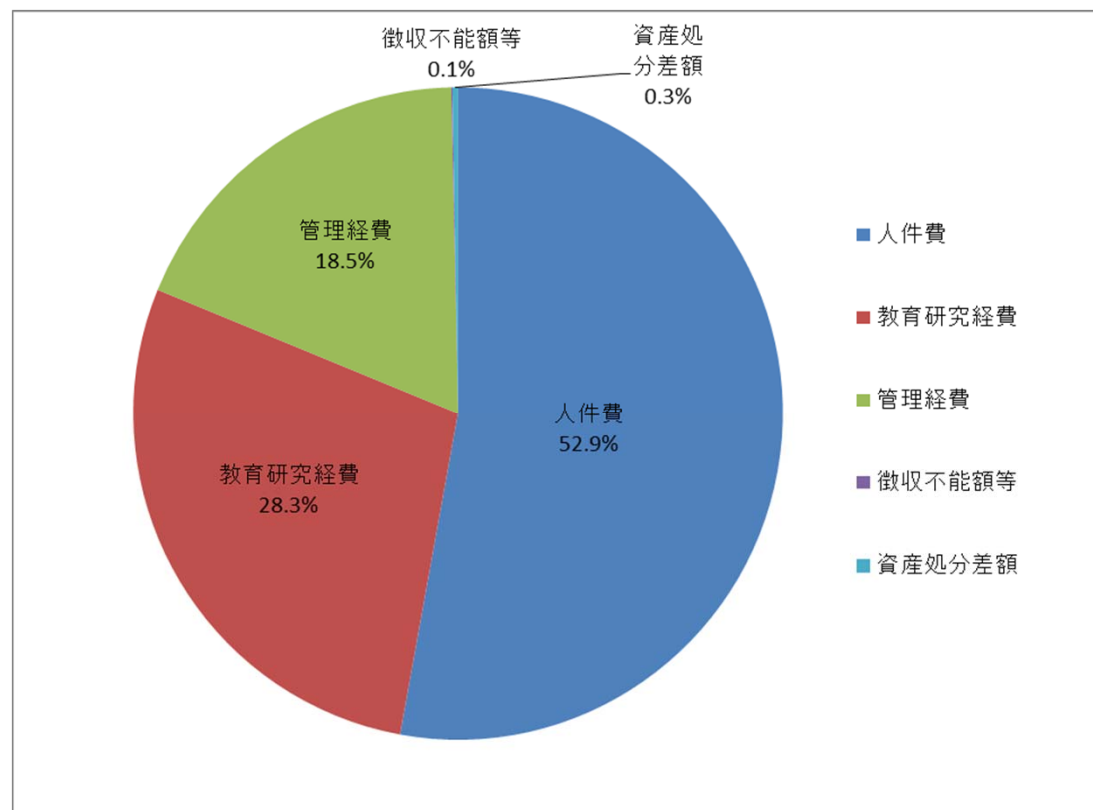
資 産 の 部			
科 目	25年度	26年度	27年度
固 定 資 産	8,851,667	8,738,839	8,698,847
有形固定資産	8,454,679	8,341,985	8,300,627
特定資産	258,000	258,000	258,000
その他の固定資産	138,988	138,854	140,220
流 動 資 産	1,343,993	1,417,320	1,480,023
合 計	10,195,660	10,156,159	10,178,870
負 債 の 部			
科 目	25年度	26年度	27年度
固 定 負 債	338,620	343,695	408,855
流 動 負 債	517,495	428,942	453,964
合 計	856,115	772,637	862,819
純 資 産 の 部			
基 本 金	13,052,170	13,079,245	13,105,905
繰越収支差額	△ 3,712,625	△ 3,695,723	△ 3,789,854
純資産の部合計	9,339,545	9,383,522	9,316,051
負債及び純資産の部合計	10,195,660	10,156,159	10,178,870

(5) 平成27年度 事業活動収入及び支出の構成比

《事業活動収入の構成比率》



《事業活動支出の構成比率》



(6) 主な財務比率の推移

事業活動収支計算書関係比率

比率名	算式(×100)	25年度	26年度	27年度
人件費比率	人件費/経常収入	58.5%	52.8%	55.4%
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	91.7%	76.5%	80.1%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	28.9%	27.6%	29.7%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	63.8%	68.9%	69.2%
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額/教育活動収入計	-3.0%	2.6%	-5.1%
補助金比率	補助金/経常収入	16.4%	15.8%	16.0%

経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

貸借対照表関係比率

純資産構成比率	純資産/(負債+純資産)	91.6%	92.4%	91.5%
流動資産構成比率	流動資産/総資産	13.2%	14.0%	14.5%
流動比率	流動資産/流動負債	259.7%	330.4%	326.0%
総負債比率	総負債/総資産	8.4%	7.6%	8.5%

(7) 財務諸表の説明

学校法人は「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度以降の会計年度より学校法人が作成しなければならない計算書類は下記のとおり変更がありました。

資金収支計算書には新たに活動区分資金収支計算書が加わりました。

消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書に変更され、様式も大きく変更されました。

貸借対照表はその他の固定資産に含まれていた引当特定資産を特定資産として分離し、固定資産は有形固定資産、特定資産、その他の固定資産に区分される。また、従来の基本金の部、消費収支差額を合わせて純資産の部となりました。

資金収支計算書	当該会計年度の学校の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の顛末を表すもの
	収入には学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産売却、前受金等が計上され、支出では、人件費、教育研究経費、管理経費、施設関係等が計上
活動区分資金収支計算書	資金収支計算書を活動区分(教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その他の活動による資金収支)ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにするもの
事業活動収支計算書	当該会計年度の事業活動ごとの成果を明らかにするために、収支を経常的な収支と臨時的な収支とに区分するもの
	経常的な収支とは、本業の教育研究活動における経常的な収支を示す教育活動収支と受取利息・配当金や借入金等利息等の財務的な活動として教育外収支とに分ける
	臨時的な収支は、特別収支として資産売却差額、資産処分差額等の臨時的に発生した収支を示す

(8) 企業会計との比較

企業は業績を伸ばし利益を獲得することが目的なのに対して、学校法人は公共性の高い教育を提供し社会に貢献できる人材の育成を目的としています。具体的には、企業会計においては、損益計算書で純利益がいくらになっているかを明確にすることが必要なのに対して、学校法人会計においては、その事業収支活動計算書で教育を継続し得る資産の保有を前提として、いかに均衡が取れた収支を維持できるかということを明確にすることが求められています。

	企業	学校
損益を表すもの	損益計算書	事業活動収支計算書
資金の動きを表すもの	キャッシュフロー計算書	資金収支計算書 活動区分資金収支計算書